

# 太宰府市議会

# 議会レポート

発行元 太宰府市議会  
太宰府市議会 議員一同  
＜問い合わせ先＞  
Tel 092-925-6384 (橋本 健)  
Tel 092-929-2290 (陶山 良尚)

■平成 29 年 9 月議会 **特別号**



## 芦刈茂太宰府市長に対する**辞職勧告可決**

太宰府市議会は、平成 29 年 9 月 26 日の議会最終日において、芦刈茂太宰府市長に対する辞職勧告決議を可決しました。市政における芦刈市長の不適切な言動が、太宰府市政を混乱・停滞させ、太宰府市発展の妨げになっており、未来に大きな禍根を残さぬよう、選挙による審判を仰ぐ必要があるとの判断に至りました。

芦刈市長の市政における言動は、すでに新聞・テレビ等のマスコミ報道により公表されていますが、今回可決した辞職勧告決議については、**議会自らその背景と真相を市民のみなさまにお伝えしなければならない**と考えたからです。

### 全会一致の問責決議を受けたはずの市長が・・・

市議会は平成 29 年 6 月議会において、芦刈市長に対する問責決議を全会一致で可決しました。市長自身、議会の問責を受けたことについて、

「不徳の至りです。市政運営の責任者として重く受け止め反省いたします。」と、議場で反省の弁を述べられ、議会としては、これで 9 月議会からはこれまでの経緯の反省のもとに、新しい市政が展開されるものと期待していた矢先のことでした。

### 9 月議会でさらなる失政の数々・・・

9 月議会の冒頭、副市長を 8 月 25 日付で解職したとの事後報告がありました。解職の理由は、なんと副市長が市長の市政改革を妨げている元凶であったというものでした。これは問責決議の趣旨と議会の願いを、完全に無視したものと云わざるを得ません。以下、9 月議会で明らかになった、芦刈市政の混乱の事実をご報告します。

## ①副市長を電撃解任の愚!! ありえない理由?

芦刈市長が 9 月議会で表明した、副市長解任の**主な理由**は以下の通りです。

### ● 6 月議会の問責決議を受けての、9 月議会での提案がなかった・・・



問責を受けたのは市長個人だったはずですが、対応を考えるのは、当然市長ご自身でなさるものと考えておりました・・・

### ● 報告・連絡・相談がなかった・・・



組織の連携・コミュニケーションがうまくいかないのは、当事者双方の努力・責任ではないでしょうか！良好な組織環境をつくるのは、リーダーの重要な役目であると考えます。

### ● 市役所改革に否定的だった・・・



市役所改革を進めるにあたっては、かけ声だけで具体案も示さずに内部協議も不十分でした。改革をグイグイ推進する強力なリーダーシップが、いま市長に求められているのです。

### ● 中学校給食が実施困難であることを、4 月の会議で突然進言した・・・



中学校給食を継続的に実施するためには、多額の費用がかかるという理由で断念したわけですが、この費用については昨年末より市長もご存じで、最終的に組織のトップである市長が判断されたはずですが、



**これらの事項が、任期途中の副市長解任に値するほど重大な理由だったのでしょうか？**



# 太宰府市議会 議会レポート

## ② 不可解な自身の給与削減!?

住民監査請求に対する不適切な文書作成と、第三者委員会設置方針を一転して撤回したことについて、自らの責任を明確にするため **報酬額の削減（月額 10%の減額を 1 か月のみ）** を行うとのことでしたが… **全会一致で否決**されました。



各議員から出された主な意見は次の通りです。

- 削減額の月額 10%・1 か月の根拠がよくわかりません！
- 報酬額の削減は、市長のどの部分の責任に関するものか不明です！
- 責任の取り方について、自身の給与削減よりも再発防止など他にすることがあるのでは！
- そもそも、問題はなかったと判断し、第三者委員会の設置を取りやめたのではなかったのですか！

**原因究明と再発防止は？**



## ③ 行政改革の進め方で市役所内は大混乱!?

行政改革大綱を策定する**行政改革推進委員（識者等の外部委員）**に関する費用が、補正予算案に計上されましたが… **この費用を削減した修正案を全会一致で可決**しました。

議会は、今回の行政改革大綱の策定に決して反対しているわけではなく、むしろ行財政改革を積極的に推し進めるべきと考えます。それは各議員が行ってきた一般質問の内容でも明らかです。

議会が問題視したのは、**行革大綱策定の進め方**についてです。

行革大綱を策定するには、先ず市役所組織の幹事会を経て、行革推進本部で**大綱素案をしっかりと作り上げる**ことが最優先です。大綱素案が全くない中、諮問機関である行革推進委員会の設置は**時期尚早**であると議会は判断したわけです。

ちなみに、この行革推進本部の本部長は**市長**になっています。先ずはしっかりと大綱素案を作り上げましょう。

## ④ 給食専門委員、不透明な特任人事!?

6月議会で断念した中学校給食の実現を改めて検討するとして、**給食専門委員**の費用が補正予算案に計上されましたが… **この費用を削減した修正案を全会一致で可決**しました。

議会の中学校給食に対する考えは、太宰府市内の公立中学校で学校給食法に基づく全員喫食で実施することが最善ですが、当面はランチサービスの充実を図るものと考えます。

6月議会で市長が突然表明された中学校完全給食の断念により、ランチサービスの充実へと大きく方向転換したはずでした。それがまたもや市長の方針に大きなブレが生じ、ランチサービスの充実を図るものか、はたまた完全給食を再検討するものか、市長は方針が決められず業務が停滞しています。

そんな中、採用基準が曖昧な**給食専門委員**の採用については問題があると考えます。

以上 9月議会における混乱が、芦刈市長に辞職勧告を出さざるを得なくなった主な原因です。

これらは市政混乱のほんの一部であり、これまで具体性のない答弁や部下のせいにする責任転嫁など、数多くの問題ある言動により市政運営が停滞しています。これらに対して太宰府市議会は市政の健全化と安定に向けて鋭意努力してまいります。

**なお、9月26日の議会最終日閉会后、市長へ意思確認を行い、「辞職をしない」という回答を受けたため、市議会は臨時議会を早急に開催し、不信任決議を提案する予定です。**